

# 数学科

## I 数学科の学習目標

- (1) 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理、法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する。
- (2) 事象を数学的に考察する能力を高めながら、数学的な見方・考え方を育む。
- (3) 数学的な活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。
- (4) 6年間の学習を系統的にまとめ、それらを実践的に活用できるよう、多面的な見方・考え方や論理的に考える力を養い、問題解決能力を高めていく。

## II 数学科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	[代数] 正の数と負の数、式の計算、方程式、不等式、1次関数 データの活用、確率と標本調査  [幾何] 平面図形、空間図形	・習熟度別少人数制授業（2クラス3展開中心） ・発展的な内容 [代数] 単項式の除法、文字式の利用、連立方程式、不等式の利用 データの散らばりと四分位範囲、場合の数、確率 [幾何] 図形の性質と合同（平行線と角、多角形の内角と外角） ・関連する行事 数学検定（希望者） 統計グラフコンクールへの参加
	2年	[代数] 式の計算  [幾何] 図形の性質と合同（三角形の合同）、三角形と四角形	・習熟度別少人数制授業（1クラス2展開中心） ・発展的な内容 [代数] 式の計算、平方根、2次方程式、関数 $y=ax^2$ [幾何] 三角形の辺と角、図形と相似、線分の比と計量 ・関連する行事 数学検定（希望者） 統計グラフコンクールへの参加
	3年	[数式・関数] 中学3年間のまとめ・問題演習  [幾何] 円、三平方の定理	・習熟度別少人数制授業（1クラス2展開中心） ・発展的な内容 [数式・関数] 数と式、2次関数とグラフ、三角比、三角関数 三角関数（弧度法、性質、グラフ）、場合の数と確率 [幾何] 円の接線、方べきの定理、2つの円 ・関連する行事 数学検定（希望者） 統計グラフコンクールへの参加
高校段階	4年	[数学Ⅰ] 数と式（集合と命題）、データの分析  [数学A] 図形の性質、整数の性質  [数学Ⅱ] 式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、 指数関数・対数関数	・習熟度別少人数制授業を実施（予定） ・発展的な内容 [数学A] 数列（数列とその和） ＊各クラスで大学入試問題演習を適宜実施。
	5年	[数学Ⅱ] 微分法と積分法  [数学B] 数列、統計的な推測  [数学C] 平面上のベクトル、空間ベクトル （理系）複素数平面	・習熟度別少人数制授業を実施（予定） ・発展的な内容 [数学Ⅱ] （理系）関数、極限、微分法、微分法の応用 数学ⅠAⅡBC問題演習 ＊各クラスの進路に応じた大学入試問題演習を実施。
	6年	[数学Ⅲ]（理系） 積分法、積分法の応用、式と曲線 国公立2次・私大を志向した数学ⅠAⅡBⅢC演習  [数学Ⅱ]（文理系） 国公立2次・私大を志向した数学ⅠAⅡBC演習  [自由選択科目]（文系） 国公立2次・私大・共通テストを志向した 数学ⅠAⅡBC演習	・生徒の能力や適正、進路希望に応じた選択履修を実施。 [必修科目] 数学Ⅲ（理系：国公立・私大2次対策） 数学Ⅱ（文理系：国公立・私大2次対策） [自由選択科目] 数学 $\alpha$ （文系）数学ⅠAの講座 数学 $\beta$ （文系）共通テスト数学ⅠA・ⅡBC対策の講座 数学 $\gamma$ （文系）数学ⅠAⅡBC記述対策の講座

\* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 数学科  
 科目名 数学  
 対象 1学年全員

I 学習到達目標

- 1 数学の中学校段階における基礎・基本となる事項の知識と技能を習得する。
- 2 数学的な見方や考え方のよさを知るとともに、それらを活用する態度を養う。
- 3 数学的活動を通して、数学を学ぶ楽しさを実感し、数学に関する興味・関心を高める。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 総授業数 年間授業時数 195時間
- 2 授業形態 習熟度別少人数制 2クラス3展開 週5時間のうち3時間実施

III 教科書・補助教材

教科書 「中学数学1」教育出版  
 補助教材「改訂版 体系数学1代数編」「改訂版 体系数学1幾何編」「改訂版 体系数学2代数編」数研出版 「新中学問題集 発展編 数学1・2」教育開発出版  
 「改訂版 体系問題集数学1代数編〔発展〕」「改訂版 体系問題集数学1幾何編〔発展〕」「改訂版 体系問題集数学2代数編〔発展〕」 数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数 計 195 (5単位)	備 考
		考 査	学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み	宿 題	小学校までのまとめ、中学数学の基礎準備、教科書の予習	1	
	4	1 学期 中 間 考 査	『改訂版 体系数学1 代数編』P4～39 第1章「正の数と負の数」 1 正の数と負の数 2 加法と減法 3 乗法と除法 4 四則の混じった計算	『改訂版 体系問題集数学1 代数編』 完成ノート 正の数と負の数 ／式の計算	1 1
	5		『改訂版 体系数学1 幾何編』P4～17 第1章「平面図形」 1 平面図形の基礎 2 図形の移動	『改訂版 体系問題集数学1 幾何編』 完成ノート 平面図形／空間図形	2 1
	6	1 学期 期 末 考 査	『改訂版 体系数学1 代数編』P40～76 第2章「式の計算」 1 文字式 2 多項式の計算 3 単項式の乗法と除法 4 式の値 5 文字式の利用 第3章「方程式」 1 方程式とその解 2 1次方程式の解き方	『改訂版 体系問題集数学1 代数編』 完成ノート 正の数と負の数 ／式の計算・方程式	2 2
	7		『改訂版 体系数学1 幾何編』P18～35 第1章「平面図形」 3 作図 4 面積と長さ	『改訂版 体系問題集数学1 幾何編』 完成ノート 平面図形／空間図形	1 8
		夏休み	宿 題 テ ス ト	夏期休業課題（1学期の復習）、体系問題集等、教科書の予習	1
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	『改訂版 体系数学1 代数編』P77～105 第3章「方程式」 3 1次方程式の利用 4 連立方程式 5 連立方程式の利用	『改訂版 体系問題集数学1 代数編』 完成ノート 方程式	2 2
	10		『改訂版 体系数学1 幾何編』P38～56 第2章「空間図形」 1 いろいろな立体 2 空間における平面と直線 3 立体のいろいろな見方	『改訂版 体系問題集数学1 幾何編』 完成ノート 平面図形／空間図形	1 7
	11	2 学期 期 末 考 査	『改訂版 体系数学1 代数編』P106～137 第4章「不等式」 1 不等式の性質 2 不等式の解き方 3 不等式の利用 4 連立不等式	『改訂版 体系問題集数学1 代数編』 完成ノート 不等式	2 2
	12		『改訂版 体系数学1 幾何編』P48～69 第2章「空間図形」 4 立体の表面積と体積 『改訂版 体系数学2 代数編』P112～133 1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位範囲	『改訂版 体系問題集数学1 幾何編』 完成ノート 平面図形／空間図形 『改訂版 体系問題集数学2 代数編』 完成ノート データの活用 ／確率と標本調査	1 5
	冬休み	宿 題 テ ス ト	冬期休業課題（1・2学期の復習）、体系問題集等、教科書の予習	1	
三 学 期	1	学 年 末 考 査	『改訂版 体系数学1 代数編』P138～175 第5章「1次関数」 4 比例・反比例の利用 5 1次関数とそのグラフ 6 1次関数と方程式 7 1次関数の利用	『改訂版 体系問題集数学1 代数編』 完成ノート 1次関数	1 6
	2		『改訂版 体系数学2 代数編』P134～165 第6章「確率と標本調査」 1 場合の数 2 事柄の起こりやすさと確率 3 標本調査	『改訂版 体系問題集数学2 代数編』 完成ノート データの活用 ／確率と標本調査	1 7
	3				1 1
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、②宿題テスト（夏休み、冬休み、年間2回）、③確認テスト（単元に対応） ④提出物（課題ノート、課題プリント）、⑤学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）				

教科名 数学科  
 科目名 数学  
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 数学の中学校段階における基礎・基本となる事項の知識と技能を習得する。
- 2 数学的な見方や考え方のよさを知るとともに、それらを活用する態度を養う。
- 3 数学的活動を通して、数学を学ぶ楽しさを実感し、数学に関する興味・関心を高める。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 総授業数 年間授業時数 156時間
- 2 授業形態 習熟度別少人数制 1クラス2展開と学級単位の授業を並行して行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「中学数学2」教育出版  
 補助教材「体系数学1幾何編」「体系数学2代数編」「体系数学2幾何編」数研出版「新中学問題集 発展 数学2」教育開発出版  
 「体系問題集数学1幾何編〔発展〕」「体系問題集数学2代数編〔発展〕」「体系問題集数学2幾何編〔発展〕」数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数 計 156 (4単位)	備考
		考 査	学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	春季休業課題（1年次の復習）		1	
	4	1 学期 中 間 考 査	『体系数学2 代数編』 第1章「式の計算」P4～31 1 多項式の計算 2 因数分解 3 式の計算と利用	『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 式の計算/平方根	13	
	5		『体系数学1 幾何編』 第3章「図形の性質と合同」P70～85 1 平行線と角 2 多角形の内角と外角 3 三角形の合同	『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 図形の性質と合同	13	
	6	1 学期 期 末 考 査	『体系数学2 代数編』 第2章「平方根」P32～61 1 平方根 2 根号を含む式の計算 3 有理数と無理数 4 近似値と有効数字	『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 式の計算/平方根	17	
	7		『体系数学1 幾何編』 第3章「図形の性質と合同」P86～97 4 証明 第4章「三角形と四角形」P100～107 1 二等辺三角形	『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 図形の性質と合同 完成ノート 三角形と四角形	13	
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	夏季休業課題（入学時～2年1学期の復習）		1	
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	『体系数学2 代数編』 第3章「2次方程式」P62～85 1 2次方程式の解き方 2 2次方程式の利用	『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 2次方程式/関数 $y=ax^2$	15	
	10		『体系数学1 幾何編』 第4章「三角形と四角形」P108～132 2 直角三角形 3 平行四辺形 4 平行線と面積 5 三角形の辺と角	『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 三角形と四角形	16	
	11 12	2 学期 期 末 考 査	『体系数学2 代数編』 第4章「関数 $y=ax^2$ 」P86～111 1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ のグラフ 3 関数 $y=ax^2$ の値の変化 4 関数 $y=ax^2$ の利用 5 いろいろな関数	『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 2次方程式/関数 $y=ax^2$	17	
			『体系数学2 幾何編』P4～24 1 相似な図形 2 三角形の相似条件 3 平行線と線分の比	『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 三角形と四角形	17	
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	冬季休業課題（入学時～2年2学期の復習）		1	
三 学 期	1	学 年 末 考 査	『体系数学2 幾何編』 第1章「図形と相似」P25～43 4 中点連結定理 5 相似な三角形の面積比、体積比 6 相似の利用	『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 図形と相似/ 線分の比と計量	16	
	2		第2章「線分の比と計量」 1 三角形の重心 2 線分の比と面積比 3 チェバの定理 4 メネラウスの定理		16	
	3					
評 価	<p>学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。</p> <p>①定期考査（各学期、年間5回）、②宿題テスト（春休み、夏休み、冬休み、年間3回）、③確認テスト（単元に対応） ④提出物（課題ノート、課題プリント）、⑤学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）</p>					

教科名 数学科  
 科目名 **数学**  
 対象 3学年全員

**I 学習到達目標**

- 1 数学の中学校段階における基礎・基本となる事項の知識と技能を習得する。
- 2 数学的な見方や考え方のよさを知るとともに、それらを活用する態度を養う。
- 3 数学的活動を通して、数学を学ぶ楽しさを実感し、数学に関する興味・関心を高める。

**II 授業の進め方（授業形態等）**

- 1 総授業数 年間授業時数 195時間
- 2 授業形態 少人数・習熟度別授業 1学級2展開 週5時間のうち2時間

**III 教科書・補助教材**

教科書 『中学数学3』教育出版  
 補助教材『体系数学2 幾何編』『体系数学3 数式・関数編』数研出版  
 『体系問題集 数学2 幾何編 [発展] 完成ノート』数研出版  
 『体系問題集 数学3 数式・関数編』数研出版  
 『新課程 サクシード 数学I+A』数研出版

**IV 学習計画**

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	春期休業課題（1～2年次の復習）	1	
	4	1 学期 中 間 考 査	・『体系数学2 幾何編』 第3章「円」P78～105 3 円に内接する四角形 4 円の接線 5 接線と弦のつくる角 6 方べきの定理 7 2つの円 第4章「三平方の定理」P110～127 1 三平方の定理 2 三平方の定理と平面図形	『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート  ・探究的な学習 ・高校入試問題演習	34
	6	1 学期 期 末 考 査	・『体系数学2 幾何編』 第4章「三平方の定理」P128～134 3 三平方の定理と空間図形 ・中学数学の復習 ・入試問題演習 <発展的な内容> 数と式 2次関数とグラフ	『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 『体系問題集 数学3 数式・関数編』  ・探究的な学習 ・高校入試問題演習	23  15
	7				
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	夏期休業課題（入学時～3年1学期の復習）	1	
	9	2 学期 中 間 考 査	・中学数学の復習 ・入試問題演習 <発展的な内容> 2次関数とグラフ 三角比	『体系問題集 数学3 数式・関数編』  ・探究的な学習 ・高校入試問題演習	40
	10				
二 学 期	11	2 学期 期 末 考 査	・中学数学の復習 ・入試問題演習 <発展的な内容> 三角比 場合の数と確率	『体系問題集 数学3 数式・関数編』 サクシード ・探究的な学習 ・高校入試問題演習	38
	12				
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	冬期休業課題（入学時～3年2学期の復習）	1	
三 学 期	1	学 年 末 考 査	・中学数学の復習 ・入試問題演習 <発展的な内容> 場合の数と確率 三角関数	『体系問題集 数学3 数式・関数編』 サクシード ・探究的な学習 ・高校入試問題演習	18
	2				24
	3				
				計 195 (5単位)	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識及び技能」，「思考力、判断力、表現力」，「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ① 定期考査（各学期、年間5回）、② 宿題テスト（春休み、夏休み、冬休み、年間3回）、③ 提出物（課題ノート等）、 ④ 学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）				

教科名 数学科

科目名 **数学 I**

対 象 4 学年全員

### I 学習到達目標

- 1 いろいろな式及び方程式について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目標とする。
- 2 様々な事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすと共に、それらを活用する能力を身に付ける。
- 3 統計の基本的な考えを理解するとともに、それをを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。

### II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を前提とした授業を実施する。
- 2 授業は教科書を中心に扱う。問題演習などでは、問題を考察し、生徒自身が解法を発表することでプレゼン能力を高める。
- 3 確認テストを実施し、定着をはかる。プリント、ノート、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

### III 教科書・補助教材

教科書 「改訂版 数学 I」 数研出版

副教材 「体系数学 3 数式・関数編」 数研出版 「改訂版 サクシード 数学 I + A」 数研出版 他

### IV 学習計画

学期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期		休明け テスト	スタディーサポート	1	
	4 5	1 学期 中 間 考 査	【発展的な内容の学習】 三角関数 三角関数の加法定理 いろいろな公式	「新課程 体系問題集 数学 3」 第 6 章 P128~P138	14
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第 2 章 集合と命題 P52~73 1 集合～3 命題と証明 第 5 章 データの分析 P176~P211 1 データの整理～6 仮説検定の考え方	「改訂版 サクシード 数学 I+A」 第 2 章 P26~P37 「改訂版 サクシード 数学 I+A」 第 5 章 P84~P101	23
		夏休み 宿 題	宿 題 テスト	1 学期の復習・2 学期の予習	1
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	【発展的な内容の学習】 式と証明 式と計算 等式と不等式の証明	「新課程 サクシード 数学II+B+C」 第 1 章 P6~P23	24
	10 11 12	2 学期 期 末 考 査	【発展的な内容の学習】 複素数と方程式 複素数と 2 次方程式の解 高次方程式	「新課程 サクシード 数学II+B+C」 第 2 章 P24~P41	15
					計 78 (2 単位)
評 価					1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・宿題テスト（50点換算） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）

教科名 数学科

科目名 **数学Ⅱ**

対 象 4 学年全員

I 学習到達目標

- 1 いろいろな式及び方程式の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目標とする。
- 2 様々な事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすと共に、それらを活用する能力を身に付ける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を前提とした授業を実施する。
- 2 授業は教科書を中心に扱う。問題演習などでは、問題を考察し、生徒自身が解法を発表することでプレゼン能力を高める。
- 3 確認テストを実施し、定着をはかる。プリント、ノート、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「数学Ⅱ」数研出版

副教材 「新課程 サクシード 数学Ⅱ+B+C」数研出版 他

IV 学習計画

学期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	3 学期の予習	1	
三 学 期	1 2 3	3 学期 学年末 考 査	高等学校 数学Ⅱ 第 5 章 指数関数と対数関数 P164～191 1 指数の拡張～5 常用対数	38	
				計 39 (1 単位)	
評 価			1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・宿題テスト（50点換算） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）		

教科名 数学科

科目名 **数学A**

対象 4学年全員

### I 学習到達目標

- 1 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- 2 整数についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。

### II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を前提とした授業を実施する。
- 2 授業は教科書を中心に扱う。問題演習などでは、問題を考察し、生徒自身が解法を発表することでプレゼン能力を高める。
- 3 確認テストを実施し、定着をはかる。プリント、ノート、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

### III 教科書・補助教材

教科書 「改訂版 数学A」 数研出版

副教材 「改訂版 サクシード 数学I+A」 「新課程 サクシード 数学II+B+C」

### IV 学習計画

学期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿題	宿題 テスト		スタディーサポート	1	
	4 5	1学期 中間 考査	改訂版 数学A 第2章 図形の性質（3年の既習事項を含む） 第1節 平面図形 P82～P117 第2節 空間図形 P118～P129	「改訂版 サクシード 数学I+A」 第2章 P148～P173	10	
	6 7	1学期 期末 考査	高等学校 数学A 第3章 数学と人間の活動 第1節 整数の性質 P132～P165 第2節 数学と人間の活動 P166～P185	「改訂版 サクシード 数学I+A」 第3章 P174～P199	15	
	夏休み 宿題	宿題 テスト	1学期の復習	「改訂版 サクシード 数学I+A」 1学期の範囲	1	
二 学 期	9 10	2学期 中間 考査	【発展的な内容の学習】 図形と方程式 直線上の点、座標平面上の点、直線の方程式、 円の方程式、円と直線	「新課程 サクシード数学II+B+C」 第3章 P42～P53	17	
	10 11	2学期 期末 考査	【発展的な内容の学習】 図形と方程式 軌跡と方程式、不等式と領域	「新課程 サクシード数学II+B+C」 第3章 P54～P61	18	
	冬休み 宿題	宿題 テスト	2学期の復習		1	
三 学 期	1 2 3	3学期 学年末 考査	【発展的な内容の学習】 数列 等差数列と等比数列、数列の和	「新課程 サクシード数学II+B+C」 第1章 P120～P129	15	
					計 78 (2単位)	
評 価						1 評価評定について ・各学期に観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・宿題テスト（各50点換算） ・平常点（プリント・レポートの提出状況、小テストの状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）

教科名 数学科  
 科目名 数学Ⅱ  
 対象 5学年全員

I 学習到達目標

- 1 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基礎的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。
- 2 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を要する授業を実施する。
- 2 授業は「基礎知識」「例題」の解説と「問」の解法発表がしめる。復習として、問題集等の練習問題を反復して解く。
- 3 確認テストによる理解度チェック、プリント、ノート、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

III 教科書・補助教材

教科書「高等学校 数学Ⅱ」数研出版  
 副教材「新課程 サクシード 数学Ⅱ+B+C」数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	春休み宿題より出題	サクシードの指定範囲	
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	「サクシード 数学Ⅱ+B+C」	4 5
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用 第3節 積分法	「サクシード 数学Ⅱ+B+C」	
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	夏休みの宿題より出題	サクシードの指定範囲	
	9 10	2 学期 中 間 考 査	【文系・理系Ⅱ】 入試問題の基本  【理系Ⅰ】発展学習 第3章 関数 分数関数、無理関数		4 5
	11 12	2 学期 期 末 考 査	【文系・理系Ⅱ】 入試問題の基本  【理系Ⅰ】発展学習 第3章 関数 逆数関数と合成関数		
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	冬休みの宿題より出題	サクシードの指定範囲	
	1 2 3	学 年 末 考 査	【文系・理系Ⅱ】 入試問題の基本  【理系Ⅰ】発展学習 第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限		2 7
					計 1 1 7 (3単位)
評 価	1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評定を行う ・各学期の観点別評価と5段階評定をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評定を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・宿題テスト（50点換算） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）				

教科名 数学科  
 科目名 数学B  
 対象 5学年全員

I 学習到達目標

- 1 数列、統計的な推測についての基礎的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。
- 2 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を要する授業を実施する。
- 2 授業は「例題」の解説と「練習」の解法がしめる。復習として、問題集等の練習問題を反復して解く。
- 3 確認テストによる理解度チェック、プリント、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

III 教科書・補助教材

教科書「高等学校 数学B」数研出版  
 副教材「新課程 サクシード 数学Ⅱ+B+C」数研出版  
 補助教材「改訂版 短期完成 統計的な推測ノート」

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	春休み宿題より出題	サクシードの指定範囲	39	
	4	1 学期 中 間 考 査	第1章 数列 第2節 数学的帰納法 漸化式と数列、数学的帰納法	「サクシード 数学Ⅱ+B+C」		
	5		第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 確率変数と確率分布、期待値と分散 確率変数の変換、和と期待値 独立な確率変数と期待値・分散 二項分布 正規分布 第2節 統計的な推測 母集団と標本 標本平均とその分散、推定、仮説検定	「サクシード 数学Ⅱ+B+C」 「統計的な推測ノート」		
二 学 期	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	夏休み宿題、今までの全範囲より出題	サクシードの指定範囲	39	
	9	2 学期 中 間 考 査	【発展的な内容の学習】 平面ベクトル	「サクシード 数学Ⅱ+B+C」		
	10		【発展的な内容の学習】 空間ベクトル	「サクシード 数学Ⅱ+B+C」		
	11	2 学期 期 末 考 査				
	12					
					計 78 (2単位)	
評 価	1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評定を行う ・各学期の観点別評価と5段階評定をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評定を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・宿題テスト（50点換算） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科  
 科目名 数学C  
 対象 5学年全員

I 学習到達目標

- 1 平面や空間のベクトルについての基礎的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。
- 2 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を要する授業を実施する。
- 2 授業は「例題」の解説と「練習」の解法がしめる。復習として、問題集等の練習問題を反復して解く。
- 3 確認テストによる理解度チェック、プリント、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。

III 教科書・補助教材

教科書「高等学校 数学C」数研出版  
 副教材「新課程 サクシード 数学Ⅱ+B+C」数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	学習内容	副教材・その他の学習内容		
三 学 期	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	冬休み宿題、今までの全範囲より出題	サクシードの指定範囲	39	
	1	学 年 末 考 査	第3章 複素数平面 複素数平面	「サクシード 数学Ⅱ+B+C」		
	2		複素数の極形式 ド・モアブルの定理			
	3		複素数と図形			
					計 39 (1単位)	
評 価	1 評価評定について ・学年末に観点別評価と5段階評定を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（100点） ・宿題テスト（50点換算） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科  
 科目名 数学Ⅲ  
 対象 6学年 理数系Ⅰ必修

I 学習到達目標

- 1 微分法および積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図る。
- 2 問題演習や課題の添削を通して計算力や記述力を習得する。
- 3 大学入試に向けて段階を踏まえた学習を行い高校数学Ⅲの応用力を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 予習、復習を要する授業を実施する。
- 2 授業は「例題」の解説と「問」の解法がしめる。復習として、問題集等の練習問題を反復して解く。
- 3 確認テストによる理解度チェック、課題提出による取組状況確認を定期的に行う。
- 4 週末や長期休業中に課題等あり。確認テスト、模擬テスト等の実施による実力確認あり。

III 教科書・補助教材

教科書 「数学Ⅲ」数研出版  
 補助教材 「教科書傍用 4STEP 数学Ⅲ+C」数研出版  
 「新課程 チャート式 基礎からの数学Ⅲ+C」数研出版  
 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」数研出版  
 「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕 受験編」数研出版  
 「2027共通テスト対策 実力完成 直前演習 数学Ⅰ・A」進研学参  
 「2027共通テスト対策 実力完成 直前演習 数学Ⅱ・B・C」進研学参

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み	宿 題				
	宿 題	テスト				
	4	1 学期 中 間 考 査	第3章 微分法 P74～P103 第4章 微分法的应用 P106～143	「4STEP 数学Ⅲ+C」 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」	4 9	
	5		数学C 式と曲線			
二 学 期	6	1 学期 期 末 考 査	第5章 積分法 P146～P181 第6章 積分法的应用 P184～P205	「4STEP 数学Ⅲ+C」 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」	5 6	
	7					
	夏休み	宿 題		チャート式の指定範囲 「新課程 チャート式 基礎からの数 学Ⅲ+C」		
	宿 題	テスト				
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	問題集「クリアー数学演習ⅢC」 Ⅰ 複素数平面 Ⅱ 式と曲線 Ⅲ 関数 Ⅳ 極限 Ⅴ 微分法 Ⅵ 微分法的应用 Ⅶ 積分法 Ⅷ 積分法的应用	「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」	7 0	
	10					
	11 12	2 学期 期 末 考 査	◆共通テスト演習 ◆過去問演習	「実力完成」進研学参 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」 「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベ クトル〕 受験編」	6 3	
三 学 期	冬休み	宿 題				
	宿 題	テスト				
	1	学年末 考 査	◆共通テスト演習 ◆過去問演習	「実力完成」進研学参版 「クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編」 「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベ クトル〕 受験編」	3 5	
	2 3					
					計 273 (7単位)	
評 価	1 評価評定について ・各学期に観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う。					
	2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・平常点（課題提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科  
 科目名 数学Ⅱ 演習  
 対象 6 学年 理数系Ⅱ 必修

I 学習到達目標

- 1 問題演習を通し、基本的な計算や考え方の理解を深める。
- 2 大学入試対策として高校数学ⅠAⅡBの総合演習に取り組み、多様な解法を学び、応用力を養う。
- 3 記述試験に対応できる実力を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 問題演習に取り組む
  - ・生徒による黒板での記述解答と解説を行うことがある。（予習を原則とする。）
  - ・別解の解説や記述内容の添削を実施する。
- 2 考査前や長期休業中に課題等あり。確認テスト等の実施による実力確認を行うことがある。
- 3 その他、進捗状況に応じて、授業で連絡をする。

III 教科書・補助教材

教科書 「数学Ⅱ」数研出版  
 補助教材 「新課程 クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C受験編」数研出版  
 「2027共通テスト対策 実力完成 直前演習 数学Ⅰ・A」進研学参  
 「2027共通テスト対策 実力完成 直前演習 数学Ⅱ・B・C」進研学参

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿 題		1, 2年生の復習	総復習プリント		
	4 5	1 学期 中 間 考 査	1. 数と式 P4～9 2. 関数と方程式・不等式 P10～19 3. 式と証明 P20～24 4. 整数の性質 P26～31	クリアーⅠAⅡBC	15	
	6 7	1 学期 期 末 考 査	5. 場合の数、確率 P32～39 6. 図形の性質 P40～43 7. 図形と式 P44～51 8. 三角比と三角関数 P54～61 9. 指数関数・対数関数 P62～65	クリアーⅠAⅡBC	21	
	夏休み 宿 題					
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	10. 微分法 P66～73 11. 積分法 P74～81 12. 数列 P82～91 13. ベクトル P92～99 14. 統計 P100～106	クリアーⅠAⅡBC	24	
	11 12	2 学期 期 末 考 査	◆共通テスト演習ⅠAⅡBC ◆大学入試2次試験対策	大学入学共通テスト過去問 「実力完成シリーズ」進研学参 クリアーⅠAⅡBC	24	
	冬休み 宿 題					
三 学 期	1 2 3	学年末 考 査	◆共通テスト演習ⅠAⅡC ◆大学入試2次試験対策	大学入学共通テスト過去問 「実力完成シリーズ」進研学参	33	
					計 117 (3単位)	
	評 価	1 評価評定について ・各学期に観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う。 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・平常点（課題提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）				

教科名 数学科  
 科目名 数学 $\alpha$   
 対象 文系 自由選択

I 学習到達目標

- 1 図形的な思考力を高め、活用できるようになる。
- 2 問題演習を通して、数学のIAの基礎基本を確認し、共通テストにおける頻出例題や重要例題の解法を身に付ける。
- 3 高校数学の高い応用力を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 例題の解説と問題演習
- 2 問題演習（原則、事前に予習しておく）
- 3 考査前や長期休業中に課題等あり。確認テスト・模擬テスト等による実力確認あり

III 教科書・補助教材

教科書 「数学I」「数学A」数研出版  
 補助教材 「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 128 数学I+A, II+B+C」東京書籍  
 「新課程 チャート式 基礎からの数学I+A」数研出版  
 「共通テスト対策 実力完成 直前演習数学I A 2027共通テスト」進研学参

IV 学習計画

学期	月	学習内容			授業 時数	備 考
		考査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4 5	中間	数と式 2次関数 データの分析	「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 数学I+A, II+B+C」東京書籍 「新課程 チャート式 基礎からの数学I+A」数研出版	10	
	6 7	期末	図形と計量 場合の数と確率	「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 数学I+A, II+B+C」東京書籍 「新課程 チャート式 基礎からの数学I+A」数研出版	14	
	夏休み					
二 学 期	9 10	中間	整数の性質 図形の性質	「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 数学I+A, II+B+C」東京書籍 「新課程 チャート式 基礎からの数学I+A」数研出版	16	
	11 12	期末	実践演習 「共通テスト対策 実力完成 直前演習数学I A 2026共通テスト」	「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 数学I+A, II+B+C」東京書籍 「新課程 チャート式 基礎からの数学I+A」数研出版	16	
	冬休み					
三 学 期	1 2 3	学年末	実践演習 「共通テスト対策 実力完成 直前演習数学I A 2026共通テスト」	「新課程 攻略!共通テスト Pick Up 数学I+A, II+B+C」東京書籍 「新課程 チャート式 基礎からの数学I+A」数研出版	22	
					計 78 (2単位)	
評 価	1 評価評定について ・学期ごとに観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・平常点（ノート・プリント提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科  
 科目名 数学 $\beta$   
 対象 文系 自由選択

I 学習到達目標

- 1 図形的な思考力を高め、活用できるようになる。
- 2 問題演習を通して、数学の基礎基本を確認し、共通テストにおける頻出例題や重要例題の解法を身に付ける。
- 3 高校数学の高い応用力を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 例題の解説と問題演習
- 2 問題演習（原則、事前に予習しておく）
- 3 考査前や長期休業中に課題等あり。確認テスト・模擬テスト等による実力確認あり

III 教科書・補助教材

教科書 「数学II」数研出版  
 補助教材 「新課程 攻略！共通テスト Pick Up 128 数学I+A, II+B+C」東京書籍  
 「新課程 チャート式 基礎からの数学I+A」数研出版  
 「新課程 チャート式 基礎からの数学II+B+C」数研出版  
 「共通テスト対策 実力完成 直前演習数学I A 2027共通テスト」進研学参  
 「共通テスト対策 実力完成 直前演習数学II B C 2027共通テスト」進研学参

IV 学習計画

学期	月	学習内容			授業 時数	備考
		考査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4 5	中間	「新課程 攻略！共通テスト Pick Up 128 数学I+A, II+B+C」 練習問題 P4~145	「新課程 チャート式 基礎からの数学I+A」数研出版	10	
	6 7	期末	「新課程 攻略！共通テスト Pick Up 128 数学I+A, II+B+C」 練習問題 P146~230	「新課程 チャート式 基礎からの数学II+B+C」数研出版	14	
	夏休み					
二 学 期	9 10	中間	「新課程 攻略！共通テスト Pick Up 128 数学I+A, II+B+C」 実践問題 P4~157	「新課程 チャート式 基礎からの数学I+A」数研出版	16	
	11 12	期末	「新課程 攻略！共通テスト Pick Up 128 数学I+A, II+B+C」 実践問題 P158~230 実践演習 「共通テスト対策 実力完成 直前演習数学I A 2027共通テスト」 「共通テスト対策 実力完成 直前演習数学II B C 2027共通テスト」	「新課程 チャート式 基礎からの数学II+B+C」数研出版	16	
	冬休み					
三 学 期	1 2 3	学年末	実践演習 「共通テスト対策 実力完成 直前演習数学I A 2027共通テスト」 「共通テスト対策 実力完成 直前演習数学II B C 2027共通テスト」		22	
					計 78 (2単位)	
評 価	1 評価評定について ・各学期に観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う。 2 評価評定の対象 ・定期考査（各100点） ・平常点（課題提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）					

教科名 数学科

科目名 数学 $\gamma$

対象 文系 自由選択

### I 学習到達目標

- 1 基礎基本を確認し、応用問題に対応する力をつける。
- 2 難関国公立大学文系における2次試験、及び私立大学文系の数学（記述式）の受験に対応できる実践力を養う。

### II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 記述式の問題を中心に扱う。（予習・復習は必須）
  - ・演習と解説。
  - ・別解の紹介や記述内容の添削。
- 2 週末課題、長期休業課題等の課題あり。確認テスト、模擬テスト等で実力確認する。

### III 教科書・補助教材

教科書 「数学II」数研出版  
補助教材 「クリアー数学演習 I・II・A・B・C [ベクトル] 受験編」数研出版 数研出版  
「2027共通テスト対策 実力完成 直前演習 数学I・A」進研学参  
「2027共通テスト対策 実力完成 直前演習 数学II・B・C」進研学参

### IV 学習計画

学期	月	学習内容			授業 時数	備考
		考查	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	中間	Example、Practiceを中心に扱う。 1 数と式 2 関数と方程式・不等式 3 式と証明 4 整数の性質	「クリアー数学演習 I・II・A・B・C [ベクトル]」	28	
	5		5 場合の数 6 図形の性質			
	6	期末	8 三角比・三角関数 9 指数関数。対数関数 10 微分法 11 積分法 12 数列	「クリアー数学演習 I・II・A・B・C [ベクトル]」	32	
7	13 ベクトル 14 統計					
	夏休み					
二 学 期	9	中間	Step UP、Clearを中心に扱う。 1 数と式 2 関数と方程式・不等式 3 式と証明 4 整数の性質	「クリアー数学演習 I・II・A・B・C [ベクトル]」	32	
	10		5 場合の数 6 図形の性質			
	11	期末	8 三角比・三角関数 9 指数関数。対数関数 10 微分法 11 積分法 12 数列	「クリアー数学演習 I・II・A・B・C [ベクトル]」	32	
12	13 ベクトル 14 統計					
	冬休み					
三 学 期	1 2 3		◆共通テスト演習	「2027共通テスト直前演習 数学I・A」 「2027共通テスト直前演習 数学II・B・C」	32	
					計 156	
評 価						1 評価評定について ・各学期に観点別評価と5段階評価を行う ・各学期の観点別評価と5段階評価をまとめ、学年末に通年の観点別評価と5段階評価を行う。 2 評価評定の対象 ・定期考查（各100点） ・平常点（課題提出状況、学期中の宿題、長期休業中の宿題、授業態度等）